

2026 年 3 月 13 日

「2026 J-Win ダイバーシティ・アワード」において 「企業賞 アドバンス部門 大賞」を受賞

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、この度、ダイバーシティ推進の先進企業を表彰する「2026 J-Win ダイバーシティ・アワード」（主催：NPO法人 J-Win*¹）において、「企業賞 アドバンス部門 大賞」を受賞しましたのでお知らせします。

「J-Win ダイバーシティ・アワード」は、日本企業におけるダイバーシティ推進の加速を目的として2008年より毎年実施されており、今年で19回目を迎えます。このうち、「企業賞 アドバンス部門」では、ダイバーシティ推進を経営戦略として位置づけ、女性リーダーを継続的に輩出し、多様な人材の活躍にむけて取り組みを拡大している企業が表彰されています。当社は2018年にも同部門において大賞を受賞しており、今回が2回目の受賞となります。



当社は、1974年の創業時から役割期待、教育、評価等の男女差を設けず、1997年には生命保険業界で初めて女性役員を登用するなど、日本で「ダイバーシティ」という言葉が定着する以前から、すべての役職員の多様性を尊重し、その能力を最大限に発揮できる環境を整備してきました。

この度の受賞は、経営トップの強いコミットメントのもと、定量目標を設定して実効性の高い推進を行っていることや、経営層による推進支援と社員主導の活動による両面から社内での浸透を図っていることなどが評価されました。

受賞にあたって、特に評価された点

- **経営トップのコミットメント**
 - ・「ダイバーシティ推進の基本的な考え方」を文書化し、推進への揺るぎない想いを社長自ら全役職員に発信していること
 - ・社長を委員長とする「ダイバーシティ推進委員会」を毎月開催し、推進の進捗状況を経営トップが自ら確認していること
- **「KPI による可視化」を軸とした実効性の高い推進戦略**
 - ・「2025 年末までに、ライン長^{*2} ポストに占める女性の割合を 30%以上にする」という KPI を掲げて取り組みを推進し、本 KPI を達成したこと
 - ・2030 年末にむけて新たな KPI を設定し、さらなる女性パイプラインの形成に取り組んでいること
 - ・「女性の活躍推進プログラム」を策定し、「経営トップのコミットメント」、「管理職のアカウンタビリティ」、「女性のキャリア開発・育成・登用」などの観点から施策を展開していること
- **経営層による推進支援と社員主導の活動による社内浸透**
 - ・社長を含む役員が、メンタリングや育成プログラムを通じて女性社員の育成を直接支援していること
 - ・J-Win の活動に参加した経験のある男性管理職が中心となって有志のネットワーキングを発足し、管理職自らが各職場でのダイバーシティ推進を支援していること

当社はこれからも、多様な人財が最大限に能力を発揮できることを目指し、ダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいきます。

*1 正式名称は「特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク」です。

*2 ライン長とは、「直属の部下を持つ管理職」を指します。

※ ダイバーシティ推進に関する取り組みの詳細は、オフィシャルホームページをご覧ください。

<https://www.aflac.co.jp/corp/value/diversity/>